

事業Ⅱ2  
準備は11億6805万  
96000円(いづれも税

市は、9月29日付で  
「賑わい創出拠点施設

計画用地測量等業務」  
(予算額・委託料690

は「生き生き暮らす未来  
をみんなでつくる」多世

マに最新事例を説いた。  
その他の講演内容は次

言に向け  
については、  
「おわり、  
推進す  
か出たほ  
活用した  
交発注者  
取組み  
調査  
が  
検  
説  
講  
事  
フ  
など  
CI  
向  
活

# 橋梁新技術フォーラムに約400人 藤井氏ら8講師が最新事例披露 広島県コンクリートメンテナンス協会

広島県コンクリートメン  
テナンス協会(徳納剛  
会長)は5日、「橋梁の維  
持管理に関する新技術フ  
ォーラム2025」を広  
島市中区の県民文化セン  
ターで開催し、コンサル  
タや発注者、工事業者ら約  
400人が参加。広島大



徳納会長



藤井氏

▽「レーザークリーナ  
ーによる施工と安全対策  
について」安本学司(オ  
プティケーザソリューションズ)

学名教授の藤井堅氏を  
はじめとする8人の講師  
が登壇するなど、鋼橋の  
維持管理における最新の  
考え方や先進的な取り組  
み事例などを披露した。  
橋梁の新技術フォーラ  
ムは、今年も全国12カ所  
で開催した「コンクリー  
ト構造物の補修・補強に  
関するフォーラム」に対  
して、鋼橋分野に重点を  
置いた内容となっており、  
今回が第3回目の開催。  
主催者あいさつで徳納  
会長(福徳技研)は「わ

れわれは計画的かつ適切  
な維持管理による橋梁の  
長寿命化こそが持続可能  
な社会への第一歩と考え  
ており、本フォーラムで  
は橋梁のライフサイクル  
全体を通じた最新の維持  
管理技術を幅広く紹介す  
る。維持管理に携わる技  
術者にとって、多様な視  
点から橋梁の未来を改め  
て見つめる貴重な機会に  
なると思う」と強調した。

講演では、藤井氏が「構  
造物の現象を把握するた  
めの解析法と仮定・モデル  
化について」と題し、構造  
力学における実現象と理  
論・解析、曲線桁の有限要  
素解析と曲げ耐力評価  
など、学術的な観点からの  
構造物の解析手法を解説  
したほか、近未来コンクリ  
ート研究会の十河茂幸代  
表は、「施工で生じる初期  
欠陥を制御するための対  
策」と題して知見を公開。  
コンクリートメンテナンス  
協会の江良和徳技術委員  
長は、「橋梁の長寿命化を  
実現する亜硝酸リチウム  
補修技術の最前線」をテ

▽「マルチメディア・  
プラスト工法について」  
研削材リサイクル型ブラ  
スト工法」安井久敬  
(福徳技研)  
▽「レーザークリーナ  
ーによる施工と安全対策  
について」安本学司(オ  
プティケーザソリューションズ)